

COVER PHOTO

市民の皆さんと一緒に、北九州らしいロケーションで撮影した写真が情報誌Qの表紙を飾ります。
今回は2015北九州国際音楽祭の舞台でもある響ホールにて、持ち寄った楽器を手に楽団スタイルでポーズ！

Q

50

vol.

autumn
2015

Q

50

vol.

autumn
2015

CASE.01

子どもと演劇



九州自然学園 学園長
堀 真一郎さん

京都大学教育学部卒、元大阪市立大学教授。
「世界で一番自由な学校」と呼ばれるニールの
サマーヒル・スクールに根ざした新しい学校
づくりと教育実践を目指して1992年、和歌
山県橋本市に「きのくに子どもの村小学校」を
開校。2009年から「北九州子どもの村小学校
（前・ひらおだい四季の丘小学校）」を運営。学
校法人きのくに子どもの村学園理事長。

堀 北九州子どもの村では、衣食住+演劇をキーワードにした「プロジェクト」という体験学習を機軸にしています。衣食住は、人間が生きていくために必要最低限のもの。演劇を取り入れたのは、人類の長い歴史の中で「表現は、どの時代にもあった普遍的なものであり、それほど大切なものだからです。さまざまな表現の中でも、演劇には言葉や動き、美術や歌などすべての領域が入っています。子どもたちが自分で考え、みんなで決める力を育む総合学習としては最適と言えるでしょう。」

舞台を作るにはいろんなことを考える必要がありますが、そのためには「なぜ? どうして? これでもいいの?」と問いを持つことが第一歩になります。この力は、作品の時代考証や歴史的背景を調べる上でも欠かせません。さらには他の仲間とうまく話し合いながら協働していかなければなりません。つまり演劇は、感情的な解放ができ、知的な考える力が育ち、人間関係が育める。子どもの健全な成長のために必要な3つが揃う理想的な活動なのです。それを教科書や大人に教わるのではなく、自分たちで身体や手を動かす中で気付いていく。その楽しさも大切だと思います。

演劇は、自分で考えみんなで決める力を育む総合学習。

Autumn Special Report

演劇が拓く、明日の可能性。

=3つの証言=

演劇のある場を訪れると、いつも素敵な「顔」と出逢った。
あるときは、子どもたちの学校生活の中で。
あるときは、障がい者のレクリエーションの場で。
そして、高齢者の方々がイキイキと集う稽古場で。
まちや人々の中に飛び込んでみて、改めて見えてきた風景と確信。
演劇には、未来の可能性の扉をひらく何かがある。

文：重岡美千代



私立 北九州子どもの村小学校 プロジェクト 「劇団ひらおだい」

今年の演劇プロジェクトメンバーが立ち上げたのが「劇団ひらおだい」。地元・平尾台に伝わる豊玉姫伝説をモチーフに、子どもたちが脚本を書き、小道具や舞台装置も手作りした。発表会で太鼓の生演奏をバックに神楽のように登場するシーンには客席から拍手がわいた。



ありがとうございました～



北九州芸術劇場は、これまで学校や福祉施設などでワークショップを行ない、より多くの市民に演劇やダンスを届ける活動を行ってきた。劇場空間で質の高い作品を上演し続けることは劇場の大切な使命。でも舞台芸術にはもつといろいろな可能性があるはず、との思いがその背景にはある。実際、アーティストとの出会いやワークショップ体験が、子どもたちの表現力や想像力、コミュニケーション能力を養う効果を持つこと、趣味として合唱や演劇などの文化活動が続ける高齢者は脳の活性化がよいことなどを示す研究も出てきた。また高齢化や過疎、中心街の空洞化、シビックプライドの醸成など、地域が抱える課題の解決に繋がる文化の役割にも注目が高まりつつある。地域に暮らすさまざまな年代、多様な背景を持った人たちに、演劇・ダンスが差し出せるものがあるとしたら、それはなんだろうか? そんな問いを胸に、3つの現場を訪れた。

最初に訪れたのは、「北九州子どもの村小学校」。子どもの自己決定に重きを置き、体験学習を中心に楽しみながら生きる力を身につける自由な学校として知られている。学習の大部分を占める「プロジェクト」の2つに演劇があり、発表会があるというのでお邪魔した。明るく元気で、自主性が高い子どもたち。その秘密を学園長の堀真一郎さんが語ってくれた。

「幸せなダンスをありがとう!」深々と美しくお辞儀したのは、関西を拠点に活動するダンスユニット・セレノグラフィカの隅地菜歩さんと阿比留修一さん。北九州あゆみの会が運営を担う「北九州市在宅身体障害者レクリエーション事業（レクリエーションキャンプ）」で、ラストダンスを踊った後のひとこまである。参加者の中には、身体の拘縮で思うように動けない方も居た。だが、わずかな腕の動きやまばたきさえも、二人と触れあえばたちまちダンスになる。互いの身体と心で反応し合い生まれるダンスは、まさに幸せな風景そのものだった。

もう一つ、大阪・高槻現代劇場で稽古を行っているシアータ団を訪れた。10年ほど前に演劇界の巨匠・蜷川幸雄さんが旗揚げした「さいたまゴールド・シアター」は55歳以上の方が対象。その影響もあり、高齢者ならではの表現や生きがいの場として「シア演劇」が全国各地で注目されている。

それぞれの実践の場でお話を伺った。

CASE.03

高齢者と演劇

梶川 あるセミナーで、認知症の予防に役立つのは①知的好奇心を刺激すること②適度な運動③「ミニニケーション」と言われている。「まさに演劇！」と思っています。

川中 参加者は演劇初体験の方や筒井さんのような若手演出家の作品に触れたことなかった方がほとんど。新たな世界に一歩踏み出して、イキイキと活動していることが、周りの人や地域にも良い影響を与えていると思います。作品を観た若い世代のポジティブな反応も嬉しい驚きでした。

青木 「高槻だから出来ること」を考える中から始まったシニア劇団も早3年。劇団員の皆さんにとっては演劇が暮らしの一部になり、劇場に愛着も芽生えているのではと思います。もともと「演劇」を使って市民の創造性を高められたら、と始めた事業ですが、ねらった以上の成果と可能性を感じています。

等身大のシニアが物語ることで 異世代間の相互受容へ。

筒井 この3年、僕の方がたくさん学ばせてもらって変化してきたと思っています。役者の意見や話を最後まで聞けるようになったし(笑)。僕は今回、それぞれの人生を生きてきた等身大のシニアの皆さんを、舞台というパブリックな場に置くだけで十分なのだと思えました。別にことさらに模範的な元気で可愛いシニアをアピールする必要はなく、そのままでもいい。そこから立ち上るメッセージは若い観客にも伝わると思うし、伝わることで演者も改めて今の自分を肯定できる。そういう相互受容の輪が異世代間に生まれることも、演劇の可能性なんじゃないかと思っています。



NPO劇研、シニア劇団制作
梶川 貴弘さん

公演芸術集団dracom!リーダー
劇作家・演出家
そよ風ペダル指導
筒井 潤さん

高槻現代劇場
事業グループ主任
川中 喜美子さん

高槻現代劇場
事業グループ
青木 敦子さん

高槻現代劇場 (大阪・高槻市)

高槻シニア劇団

うっとりいちざ

「そよ風ペダル」「恍惚一座」

2012年、高槻現代劇場を拠点に生まれた2つのシニア劇団。筒井潤さんと山口茜さんを演出に迎え、週に一度の稽古と年に一度の公演を続けてきた。「そよ風ペダル」は今年仙台で行なわれた「全国シニア演劇大会」にも出場。両劇団ともこの秋、3年の活動期間を終えるが、劇団員からは自主活動を望む声も高まっている。

若い人にはない力の抜け具合がシニアの方々の魅力。創作を通して、わけの分からないもの=芸術を受け止める力みたいなものを鍛えられれば、と思います。

トリコ・Aプロデュース主宰
劇作家・演出家・俳優
恍惚一座指導

山口 茜さん



CASE.02

障がい者とダンス

谷口 参加者の方は基本的に歌や踊りが好きな方が多いので、今回のワークシヨップはとても良かったと思います。相手の指の動きに合わせて人差し指でダンスしたり、素敵な曲のついで車椅子の方も独歩の方もお散歩ワルツしたり。それぞれの身体の可動域や障がいのレベルに応じて、ゆっくりであつてもどこか動かすだけでちゃんとダンスになるから不思議。決められた振付でもなく、誰かに動かしてもらおうのもなく、あくまで自分の意志に基づく動きがベースになっていたの、皆さんの満足度も高かったようです。

全国で活躍するアーティストの方と、こんなに身近で触れあ

えたことも刺激になったと思います。日頃あまり動きのない方が「アーティストさんを懸命に目で見つめたり、かすかに首を動かしたり。小さなことのようにですが、彼らにはとても意義深い機能回復の瞬間。いつもと違う世界に触れて、内側でももっと大きなものが動いているようにも見えました。そういえば以前、ディスコのプログラムを行い、ペアで踊りを楽しむ時間をつくったところ、車椅子の女性のご自分の番になった瞬間、すっと立ち上がったことがあったんです。誰もが奇跡的に思えた逸話ですが、ダンスや演劇などの芸術活動には、そんな底知れない力というか、可能性があるのかも知れません。



社会福祉法人 北九州あゆみの会
常務理事
谷口 和子さん

北九州生まれ。昭和52年、前身である「財団法人北九州肢体不自由児を守るあゆみの会」設立時に事務職として入職。昭和58年に事務局長、平成24年に常務理事に就任。社会福祉法人北九州社会福祉協議会の評議員も務める。

社会福祉法人 北九州あゆみの会

レクリエーションキャンプ

北九州あゆみの会は「障がいのある人々の尊厳を守り、自立を支援し、その家族および理解ある人々と協同し、地域社会に共感と互助の輪を広げる」という理念のもと、さまざまな事業を行っている。レクリエーションキャンプは市からの委託事業の一つ。在宅身体障害者の社会性や精神的解放、連帯感を育むことを目的に行われており、今年で41回目を数える。今年はプログラムに、劇場のアウトリーチとしてセレノグラフィカのダンスワークシヨップを取り入れ、45名が参加した。

劇場に行きたいと思ってもなかなか行くことのない参加者にとって、すごく特別な体験になったと思います。

手と手を
合わせて...



相手の指の動きに合わせて動きます



それぞれの動きがそのままダンスになるので、表情も満足しているようでした。



「義師のおひぢやんと
まほさん」





自身が主宰する「維新派」では、壮大な野外劇を創り続けている松本。何日もかけて更地から築き上げる舞台は、終われば更地に戻す徹底ぶり。ゆえに架空性も際立つ。「喋らない台詞、歌わない音楽、踊らない踊り」をコンセプトに、台詞を単語に解体し、変拍子のリズムと動きに乗せて再構築する「チャンチャン☆オペラ」と呼ばれる表現スタイルは、日本のみならず、世界的にも注目が高い。

夢か現か、無の終焉か―
世界の涯まで連れてって。

「レミング」原作の副題は「壁抜け男」。都市ではみんな自分が作った壁の中に暮らして、いわば全員が監獄で暮らしているようなもの。その壁が消失したら、人々はどこに向かつて走り出すのか―そういう感覚にも共感できます。時折、事務所のビルの屋上から大阪の街を眺めていると、ビルの波が墓場のように見えることがあるんです。人口が多いわりに、真夏の昼間なんて人が全然歩いていない時間帯もあって、人間の気配があるのか無いのか、ものすごく不思議な感覚。「都市は、一個の生命体である」という上演台本の冒頭は僕が書き加えたものです。都市は人間が作ったものだけど、人間の手を離れてそれ自体がつの生き物のようだ。その巨大なモンスターは、あらゆるものを貪り、排泄して、呼吸している。そういう呼吸感みたいなものを舞台美術で表現できれば、と思っています。

ば、新宿西口のネオンの一文字が消えているのを見て、「あれはきつとオレに対する信号なんだ」とか。自身の体験かもしれないが、都市に何かしらのメッセージを求めているやまない、純粹すぎるほどの青年の心情。それが、子どもの頃に大阪の港町に越してきて、猥雑で余所者だらけの多民族の街に暮らした僕にとっては新鮮でした。

生誕80周年 寺山 修司 × 維新派 松本 雄吉

松本 雄吉

Yukichi Matsumoto

INTERVIEW

〔都市〕と〔レミング〕と〔世界の涯〕と。

凄い舞台になる予感で震える―
寺山修司の遺作舞台となった音楽劇「レミング～世界の涯まで連れてって～」が、比類なき舞台集団と称される維新派・松本雄吉の演出で再び帰ってくる。
60-70年代の混沌とした社会を駆けぬけた寺山Worldが、松本特有のチャンチャン☆オペラによって現世でどう変貌するのか。
冬の東京、名古屋、大阪、そして北九州で立ち上る都市景色が楽しみだ。

text：重岡美千代 photo：井上嘉和

●松本雄吉（まつもと・ゆうきち）

1970年に大阪で「日本維新派」(87年に維新派と改名)を結成し、74年以降の全ての作品で脚本・演出を手掛ける。維新派は、主宰の松本を軸として常に「演劇」という枠では語りきれない演劇的活動を続けてきたことで知られる集団。野外に自らの手で建築する劇場、数々の映画の美術監督として知られる林田裕至による圧倒的な美術、「チャンチャン☆オペラ」と名付けた関西弁のイントネーションを生かしたゲチャ音楽のような台詞、インプロヴィゼーションユニット「アルタード・ステイツ」を率いて世界でも評価の高い内橋和久の音楽という、すべての要素をディレクションした前衛的な総合芸術として作品を発表している。96年大阪府舞台芸術奨励賞、99年大阪府舞台芸術賞、02年朝日舞台芸術賞、04年読売演劇大賞優秀演出家賞、08年朝日舞台芸術賞 アーティスト賞、08年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。11年紫綬褒章受章、13年大阪市市民表彰。

SHUJI TERAYAMA



寺山修司

1935年青森生まれ。詩人、劇作家、演出家、映画監督。67年、演劇実験室●天井桟敷を設立。世界屈指の前衛劇団として国際的に活躍。代表的舞台に『毛皮のマリー』『奴隷訓』『レミング』。映画監督としても『書を捨てよ町へ出よう』『田園に死す』の他、実験映画も次々に発表。83年、47歳で急逝。

音楽劇「レミング～世界の涯まで連れてって～」

レミングは、演劇実験室●天井桟敷によって1983年夏に上演され、同年5月に死去した寺山修司の最後の作・演出作品となった。ある日突然消失したアパートの「壁」、次々に登場する奇妙な訪問者たちが繰り広げる夢とも現実ともつかぬシュールな世界に翻弄されるタロ(満端淳平)とジロ(柄本時生)。壁が消えた世界で、タロとジロはどこへ向かうのか…？

舞台写真(2013年) 撮影：谷古宇正彦

ダイナミックで繊細、かつ緻密…維新派の作品にも通じる大掛かりな舞台美術も「レミング」の見所の一つ。果たしてどんな都市空間が舞台上に立ち現れるのだろうか。

松本 寺山さんの戯曲は、ト書きが実に面白いんです。「渋谷の床屋で毎日切られる女の髪の毛の量は何トンである」とか。数字に都市の狂気のようなものを重ねてあって、ぞつとしますよね。そういうところを切り取って、ラップ調に俳優に言わせてたりしているんですが、それだけでも面白さが伝わってくる。僕は寺山さんの短歌も好きなので、その断片もあちこちに入れて。今回は初演の脚本をさらに書き直して、寺山さんのポエティックな面を強調した寺山ワードワールドという感じになっています。

俳優陣もガラリと変わりました。中軸を担うのは溝端淳平と柄本時生の若手あたり。溝端くんは男前やし、柄本くんはどこか妖し気やし(笑)。影山影子という映画女優役には元宝塚トップの霧矢大夢。そこに磨赤兒。音楽劇の要素を強くしたいと思ったので、初演では無かった役どころを登場させます。都市に対する愛憎こもごもで、冷めた知性でどこか遠望している東京少女的な感じ。いつかは無に帰す都市や世界を幻視しているような存在は、この舞台の終末論的な世界観に通ずるのではと期待しています。

たとえばもし、世界が減びて人間の痕跡が無くなるとする。それはある意味負の出来事なんですが、芸術には敢えて無や空に美を求めるところがあると思うんです。寺山さんの20世紀終末論に出てくる空き家や廃墟に心惹かれてしまいうのも、そういうことかも。誰かが住んだ痕跡すらもない。もはや善悪の渦中ですらない、無の終焉。それを幽かに嗅ぎとっている人間の潜在意識の深いところ―それこそが「世界の涯」なのかもしれません。

都市は、一個の生命体。
蠢く呼吸感を舞台に。

寺山のト書きには「都市とは、そこにすむ人々の内面を外在化したものである」とある。松本と天野天街による上演台本は「都市は、一個の生命体である…」という一文からはじまる。舞台・レミングには寺山と松本の都市論が共存しつつ蠢きあつ。

松本 寺山さんの場合、東北の田舎から東京に出てきた青年が見た都市像が詩情豊かに描かれているんですね。たとえ

松本 知り合いが天井桟敷に居たこともあり、世代的な近さは感じていました。お互い前衛指向でありながら、政治的でなかったのが共通するところ。政治的な力を持つ演劇の在り方よりも、演劇の架空性というか、演劇にしか出来ない力にこだわっていた点も近いと思います。「レミング」での寺山さんの名言に「生ものは腐る」とあるんですが、この「生もの」とは事実のこと。今の世の中、いろんなことが現実不起こっているけれど、熱が冷めた途端「あれは事実だったのか。ひょっとしてすべてが架空なんじゃないか」と思うくらい次から次へと消滅していく。事実つて意外に頼りない。それに対して演劇の持つ架空性や虚構は残るといえるか、永遠に続くといえるか。僕は舞台を世界地図に見立てたりするんですが、この「見立て」というのが演劇の架空性への挑戦だと思うんですね。レミングでは、囲碁に見立てて東京都市論が展開されるシーンがあるのですが、そういう寺山さんの視点が面白いと感じています。

1935年、青森で生まれた寺山修司は、67年に東京で「演劇実験室●天井桟敷」を設立。日本の前衛演劇を牽引する存在となった。一方、熊本県天草で生まれた松本雄吉は、70年に大阪で「日本維新派」を立ち上げ、他に類を見ない作風で日本の演劇史に確固たる足跡を残し続けている。寺山は77年に二度、維新派の東京公演を観ているという。

事実は生、ゆえに腐る。
演劇の架空性への挑戦。

AUTUMN 2015

7

6

AUTUMN 2015

北九州芸術劇場+市民共同創作リーディング
「Re:北九州の記憶」



©藤本昌

【作・構成・演出】鶴飼秋子
【作】穴迫信一、塩津順子、守田慎之介、脇内圭介
【ドラマドクター】内藤裕敬
【料金】¥500
【会場】小劇場

12/19⊕ 12/20⊕

14:00

先行予約日 10/31⊕ 一般 11/1⊕～

*全席自由

ワンコインコンサートvol.2
「デュオ・プリマとすてすお昼のひととき」



©田中亜紀

【出演】デュオ・プリマ(神谷未穂、磯絵里子)
ピアノ：中川賢一
【曲目】アンダーソン：舞踏会の美女
ショパン：ノクターン 第2番 ほか
【料金】¥500
【会場】大ホール

12/9⊕

11:45

一般 10/4⊕～

*全席自由 *チケットは劇場窓口/電話のみ取扱

こまつ座 第112回公演
「十一ぴきのネコ」
～子どもとその付添いのためのミュージカル～



©田中亜紀

【作】井上ひさし 【演出】長塚圭史
【出演】北村有起哉、中村まこと、山内圭哉 ほか
【料金】大人¥6500、子ども(3歳～中学生)¥1500
セット(大人+子ども)¥7000
【会場】中劇場

11/7⊕ 11/8⊕

14:00

発売中

*2歳以下入場不可 *セットは劇場前売のみ取扱

KERA・MAP#006「グッドバイ」



©水野美紀

【原作】太宰治
【脚本・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ
【出演】仲村トオル、小池栄子
水野美紀、夏帆、門脇麦、萩原聖人、山崎一 ほか
【料金】一般¥7500、ユース(24歳以下)¥3500
【会場】中劇場

10/3⊕ 10/4⊕

13:00 18:00

前売終了

*当日券取扱あり

音楽劇
レミング～世界の涯まで連れてって～



©寺山修司

【作】寺山修司 【演出】松本雄吉
【上演台本】松本雄吉、天野天街
【出演】溝端淳平、柄本時生、霧矢大夢、鷹赤兒 ほか
【料金】S席¥8000、A席¥6000、ユース(24歳以下)¥3500
【会場】大ホール

12/26⊕ 12/27⊕

13:00 15:00

先行予約日 10/17⊕ 一般 10/25⊕～

ダンスダイブ2015 ダンスダイブウィーク関連企画
大植真太郎×森山未来×平原慎太郎「談ス」



©Matron

【構成】大植真太郎
【振付・出演】大植真太郎、森山未来、平原慎太郎
【料金】一般¥4000、ユース(24歳以下)¥3000
【会場】中劇場

12/12⊕ 12/13⊕

14:00 19:00

発売中

*2歳以下入場不可 *ユースは劇場のみ取扱

平成27年度『北九州芸術工業地帯』
モノレール公演「燈の正体」



©Gadi Dragon

【作・演出・出演】穴迫信一、高野桂子
【出演】江原千花、a-mi、大野真代、ケニー ほか
【料金】¥2100(特別乗車料¥620含む)
【会場】北九州モノレール車内
【集合場所】北九州モノレール小倉駅改札前

11/13⊕ 11/14⊕ 11/15⊕

18:36

発売中

*全席自由・車両指定 *当日¥500増 *託児なし

ダンスダイブ2015 バットシェバ舞踊団
DECADANCE ― デカダンス



©Gadi Dragon

【振付】オハッド・ナハリ
【料金】一般¥6000、ユース(24歳以下)¥3000
【会場】大ホール

10/11⊕

14:00

発売中

ハイバイ「新作(タイトル未定)」



©おとこたち

【作・演出】岩井秀人
【料金】一般¥3300 学生¥2500
【会場】小劇場

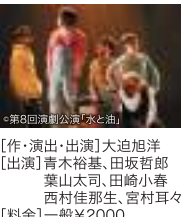
2/13⊕ 2/14⊕

14:00

先行予約日 11/21⊕ 一般 11/28⊕～

*全席自由 *整理番号付 *一般のみ当日¥500増

不思議少年 第12回演劇公演
「いいひと」



©第8回演劇公演「水と油」

【作・演出・出演】大迫旭洋
【出演】青木裕基、田坂哲郎
葉山太司、田崎小春
西村佳那生、宮村耳々
【料金】一般¥2000 高校生以下¥1000
【会場】小劇場

1/22⊕ 1/23⊕ 1/24⊕

14:00 19:00

一般 11/10⊕～

*全席自由 *一般のみ当日¥500増

小林賢太郎演劇作品
「うるう」



©吉吉正徳

【脚本・演出・出演】小林賢太郎
【演奏】徳澤青弦
【料金】¥6500
【会場】中劇場

1/9⊕ 1/10⊕ 1/11(再)⊕

13:00 14:00 18:00 19:00

先行予約日 11/7⊕ 一般 11/15⊕～

*購入枚数制限:お一人様1公演のみ4枚まで *当日¥500増

南河内万歳一座
「似世物小屋」



©吉吉正徳

【作・演出・出演】内藤裕敬
【出演】鴨鈴女、三浦隆志 ほか
【料金】一般¥3000 学生・シニア¥2800 青春18歳差切符¥5500
【会場】小劇場

12/12⊕ 12/13⊕

14:00 18:00

先行予約日 10/3⊕ 一般 10/11⊕～

*青春18歳差切符は劇場のみ取扱 *全席自由 *当日¥500増

バルコ・プロデュース公演
「オレアナ」



©Gadi Dragon

【作】デイヴィッド・マメット
【翻訳】小田島恒志
【演出】栗山民也
【出演】田中哲司、志田未来
【料金】一般¥7800 ユース(25歳以下)¥4000
【会場】中劇場

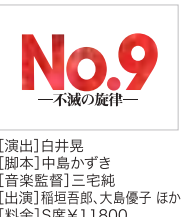
12/5⊕ 12/6⊕

13:30 18:00

先行予約日 10/3⊕ 一般 10/10⊕～

*ポイント対象外

No.9―不滅の旋律―



©Gadi Dragon

【演出】白井晃
【脚本】中島かずき
【音楽監督】三宅純
【出演】福垣晋郎、大島優子 ほか
【料金】S席¥11800 A席¥9800
【会場】大ホール

11/13⊕ 11/14⊕ 11/15⊕

13:00 18:00

前売終了

*当日券取扱あり

募集

北九州芸術劇場リーディングセッションvol.26
「会 議」作 別役実



演出:
小野寺修二

オーディション

11/29(日) 10:00～21:00

会場

創造工房

定員

10名程度

資格

年齢・舞台経験不問

稽古・公演の全日程に参加可能な方

公演

12/29(月)～3/4(金) 10:00～21:00

※予定

公演

3/5(土)～7(月)

申込

所定の申込用紙に記入し郵送にて

締切

11/16(月)必着

北九州芸術劇場「リーディングセッションvol.26」係

TEL.093-562-2620

人形浄瑠璃「文楽」



青木信二

演出

星の部「団子売」

「心中天網島」天満紙屋内の段 ほか

夜の部「絵本太功記」夕顔棚の段 ほか

「日高川入相花王」渡し場の段

料金

一般¥3000、学生(大学生以下)¥1500

会場

戸畑市民会館大ホール

3/6(日)

昼の部 13:30

夜の部 18:00

一般

12/15(土)～

※当日¥500増

※昼の部・夜の部総入れ替え制

※ポイント対象外

田上パル「合唱曲第58番」



合唱曲第58番(2011年)

作・演出

田上豊

出演

能島瑞穂、日高啓介、飯田一期、緒方和也、長野海、安村典久、ほか

料金

一般¥2500

高校生以下¥1000

会場

小劇場

2/27(土)

2/28(日)

※開場は開演の20分前

先行予約日

12/5(土)

一般

12/13(日)～

※全席自由

※一般のみ当日¥500増

山海塾「金柑少年」



Sankai Juku

振付・演出・デザイン

天児牛大

音楽

吉川洋一郎

舞踏手

竹内晶、市原昭仁、長谷川一郎、松岡大石井則仁、百木俊介

料金

一般¥4500、ユース(24歳以下)¥2500

会場

中劇場

2/7(日)

14:00

先行予約日

11/14(土)

一般

11/22(日)～

ツインズ



古田新太



吉田鋼太郎

作・演出

長塚圭史

出演

古田新太、多部未華子、りょう、石橋けい、葉山奨之、中山祐一朗、吉田鋼太郎

料金

未定

会場

大ホール

日程

1/16(土)・17(日)

※詳細は後日HPにて発表

先行予約日

10/31(土)

一般

11/8(日)～

募集

高校生(的)ワークショップ
演劇ワークショップ
～戯曲からのアプローチ～



講師:
松村 武

日時

12/26(土) 14:00～17:00

12/27(日) 14:00～18:00

会場

創造工房

対象

高校生(両日参加できる方)

定員

20名程度

料金

¥500

申込

所定の申込用紙に記入し、郵送またはFAXかメールにて

締切

11/26(日)必着

北九州芸術劇場「高校生(的)WS」係

TEL.093-562-2620 FAX.093-562-2633 kitageki@kicpac.org

募集

高校生(的)ワークショップ
マイムワークショップ
～身体からのアプローチ～



講師:
小野寺修二

日時

11/28(日) 16:00～19:00

会場

創造工房

対象

高校生

定員

15名程度

料金

¥500

申込

所定の申込用紙に記入し、郵送またはFAXかメールにて

締切

11/16(月)必着

北九州芸術劇場「高校生(的)WS」係

TEL.093-562-2620 FAX.093-562-2633 kitageki@kicpac.org

募集

劇場塾2015

舞台芸術に関する様々な講座を行います。

◆オープンレクチャー

多彩な講師を迎え、芸術を楽しむきっかけを提供

日程

11/16(月)

◆地域文化の担い手育成クラス

①地域文化コーディネーターコース

将来の地域文化を担う人材を育成

日程

11/19(木)～21(土)

②ワークショッププログラム作成コース

アーティストを講師に、プログラム作成を体験

日程

11/19(木)～22(日)

◆劇場基礎クラス

公立文化施設における舞台技術者の役割とは

日程

12/1(火)・2(水)

締切＝全て10/30(金)必着

※詳細はHP参照

北九州芸術劇場「劇場塾2015」係

TEL.093-562-2620 FAX.093-562-2633 kitageki@kicpac.org

二兎社「書く女」



平岳大 黒木華 木野花

作・演出

永井愛

作曲・ピアノ演奏

林正樹

出演

黒木華、平岳大、木野花 ほか

料金

¥4500

会場

中劇場

2/21(日)

13:00

先行予約日

12/5(土)

一般

12/13(日)～

熱海殺人事件



風間杜夫 平田満 愛原実花 中尾明慶

作

つかこうへい

演出

いのうえひでのり

出演

風間杜夫、平田満、愛原実花、中尾明慶

料金

一般¥7500、ユース(24歳以下)¥3500

会場

中劇場

1/16(土)

1/17(日)

14:00

18:30

先行予約日

10/31(土)

一般

11/8(日)～

ステージ
プレビュー
について

高校生(的)チケット

(高校生対象)数量限定(大ホール・中劇場作品¥1500|小劇場作品¥1000|HP参照)

大人も一緒に 子どもたちの劇場シリーズ2015

(子どもと大人が一緒に楽しめるプログラム|HP参照)

冬のしばいはしご券

(「ツインズ」「熱海殺人事件」の2演目セット券)数量限定|HP参照)

※特に表記のない場合(全席指定)(未就学児入場不可)(当日前売金額共通)(開場は開演の30分前)(ポイント対象公演) ※ユース・学生など年齢制限のあるチケットは身分証の提示が必要です。 ※公演日程など変更になる場合がございます。 ※託児あり(有料要予約TEL.0120-400-829) ※購入後チケットの変更キャンセルはできません。 ※車椅子でのご来場希望の方は事前にお問合せください。 ※募集情報の所定の申込用紙はHPよりダウンロードできます。

公演チケット取扱

WEBサイト

http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac

携帯サイト

http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac-m

QRコード

TEL.093-562-8435

(10:00～17:00)

土日祝休

チケットぴあ

TEL.0570-02-9999

ローソンチケット

TEL.0570-000-407

チケットクラブQ [会員先行予約方法]

先行予約

(電話Q・WEB)

ポイント割引

Q送付

など

(年4回)

TEL.093-562-2655

(10:00～19:00)

ご希望する公演の先行予約日(10:00～17:00)に

電話・WEB・携帯サイトからお申込みください。

WEB・携帯サイトは初回予約・購入の際に利用登録が必要です。

希望する公演の先行予約はP.18をご覧ください。

NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」



野田秀樹

作・演出

野田秀樹

出演

松たか子、瑛太、井上真央、阿部サダヲ、池田成志、満島真之介、銀粉蝶、野田秀樹

料金

S席¥9800、A席¥7800

サイドシート¥5500(25歳以下¥3000)

高校生割引¥1000(1月4日以降HP参照)

会場

大ホール

3/31(土)

4/1(日)

4/2(土)

4/3(日)

13:00

18:00

19:00

先行予約日

11/28(土)

一般

12/12(土)～

※購入枚数制限:お1人様1公演につき4枚まで

北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」



桑原裕子

作・演出

桑原裕子

出演

椎木樹人、寺田剛史／若狭勝也 ほか

料金

一般¥3000、学生(小～大学生)¥2500

会場

小劇場

2/2(土)

2/3(日)

2/4(月)

2/5(火)

2/6(水)

2/7(木)

13:00

14:00

18:00

19:00

先行予約日

11/7(土)

一般

11/15(日)～

※アフタートーク ※全席自由 ※当日¥500増

AUTUMN 2015

11

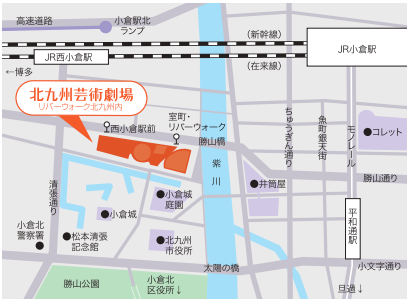
10

AUTUMN 2015

11			日程	開演時間	料金	お問合せ
 小		音の杜の愉快的仲間たち	13 ^金	19:00	¥2000 *全席自由 *当日¥500増	音の杜の会 090-3882-4445
 創		平成27年度 北九州芸術劇場創造工房「演カツ!!」 Act.base「蝶のごとく」	14 ^土 ・15 ^日	14 ^土 13:00/18:00 15 ^日 13:00	¥1500 *全席自由 *当日¥300増 *未就学児入場不可	080-3996-1841(宮木)
 小		Homes Again ピアノ教室発表会	15 ^日	13:00 *開場は開演の15分前	無料 *全席自由	本原麻三子 090-4994-3744
 大		丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ 15周年記念発表会	21 ^土	16:00	¥1500 *全席自由 *当日¥500増	丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ 093-621-5531
 中		第23回ふくおか県民文化祭参加劇団青春座創立70周年記念 「杉山貞 - 教育事始め」 柏田道夫・作	21 ^土 ・22 ^日	21 ^土 18:30 22 ^日 13:30	一般¥3000 学生(大学生以下)¥2000 *全席自由 *当日¥500増 *未就学児親子室あり(要予約・2組・無料)	劇団青春座 093-922-4995(井生)
 小		音楽発表会	26 ^水	13:30	無料 *全席自由	専門学校 麻生医療福祉&観光カレッジ 093-882-0018
 小		Q.T.Honey (キューティーハニー) アカペラコンサート	28 ^土	13:00	大人¥3000、高・大学生¥1000 *全席自由 *中学生以下無料	小田正勝 093-931-6710
 大		第41回小倉南文化祭 日本舞踊合同大会	29 ^日	10:30	¥2000 *全席自由	小倉南日本舞踊協会 093-961-0050

12			日程	開演時間	料金	お問合せ
 大		レクイエム in 北九州 2015	5 ^土	15:00	一般¥3000、高校生以下¥1500 *全席自由 *未就学児入場不可	北九州モーツアルトの会 090-1089-6954(田端)
 中		バルコ・プロデュース公演 「オレアナ」	5 ^土 ・6 ^日	5 ^土 18:00 6 ^日 13:30	一般¥7800 ユース(25歳以下)¥4000 *全席指定 *未就学児入場不可	ピクニックチケットセンター 050-3539-8330(平日11:00～17:00)
 大		北九州・行橋・いづか合同例会 「野球部員・舞台に立つ!」(青年劇場)	6 ^日	18:30	会費 *未就学児入場不可 *子ども劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州子ども劇場 093-884-3834
 大		ワンコインコンサートvol.2 「デュオ・プリマとすぐすお昼のひとつき」	9 ^水	11:45	¥500 *全席自由 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 中		ダンスダイブ2015 ダンスダイブウィーク関連企画 大植真太郎×森山未来×平原慎太郎「談ス」	12 ^土 ・13 ^日	12 ^土 19:00 13 ^日 14:00	一般¥4000、ユース¥3000 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *2歳以下入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 小		南河内万歳一座「似世物小屋」	12 ^土 ・13 ^日	12 ^土 18:00 13 ^日 14:00	一般¥3000、学生・シニア¥2800 高校生(的)チケット¥1000 *全席自由 *当日¥500増 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 中		北九州子ども劇場12月乳低合同例会 「てぶくろを買いに、併演/くるみ割り人形」(人形劇団ブーク)	15 ^火	18:30	会費 *子ども劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州子ども劇場 093-884-3834
 大		平成27年度 福岡教育大学附属小倉中学校合唱祭	17 ^水	13:00 *開場は開演の20分前	無料 *全席自由(一部指定あり)	福岡教育大学附属小倉中学校 093-541-8621(堤)
 大		第13回 北九州市立高等学校ダンス部公演	19 ^土	17:30	¥500 *全席自由*当日¥100増	北九州市立高等学校ダンス部 093-881-5440(緒方)
 小		北九州芸術劇場＋市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	19 ^土 ・20 ^日	両日14:00	¥500 *全席自由 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大		音楽劇「レミング～世界の涯まで連れてって～」	26 ^土 ・27 ^日	26 ^土 15:00 27 ^日 13:00	S席¥8000、A席¥6000 ユース¥3500 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 小		梅光学院高等学校音楽科20期卒業生による 同“奏”会コンサート～5th anniversary～	26 ^土	13:30 *開場は開演の15分前	無料 *全席自由	090-7981-7567(中村)

ジャンル	
 演劇・舞踊	 音楽
 その他、講演会など	
会 場	
 大ホール	 中劇場
 小劇場	 創造工房
*表示料金は前売価格です。 *特に表記のない場合（当日前売金額共通）（開場は開演の30分前） *掲載情報は北九州芸術劇場公演の一部です。9/11(金現在の情報であり、公演名・時間・料金などは変更になる場合がございます。詳細については各主催者までお問合せください。	



北九州芸術劇場
 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER
 〒803-0812北九州市小倉北区室町1丁目1-11リバーウォーク北九州6F
 TEL.093-562-2655 FAX.093-562-2588
<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>

【J R】小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分
 【バ ス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州前)下車
 【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分 ※専用の駐車場はございません。
 【空 港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分
 リバーウォーク北九州(30分¥150)ほか周辺の駐車場をご利用ください。
 公演時は劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。

10			日程	開演時間	料金	お問合せ
 小		島田亜希子マリンバコンサート vol.9	2 ^金	19:00	¥2000 *全席自由 *当日¥500増	090-3882-4445(島田)
 中		KERA・MAP #006「グッドバイ」	3 ^土 ・4 ^日	3 ^土 13:00/18:00 4 ^日 13:00	一般¥7500、ユース¥3500 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *未就学児入場不可 *前売終了・当日券取扱あり	北九州芸術劇場 093-562-2655
 小		立川生志 落語会ひとりブタっちゃ	3 ^土	14:00	¥3500 *全席指定 *当日¥500増 *未就学児入場不可	シアターネットプロジェクト 092-739-2318
 小		音楽の広場PAM 第108回コンサート	4 ^日	14:00	一般¥1000、会員¥500 *全席自由	音楽の広場PAM 090-9605-3881(岩崎)
 中		北九州市民劇場10月例会 劇団NLT「殺人同盟」	5 ^月 –12 ^(月・祝)	5 ^月 18:30 6 ^月 7 ^日 13:30 8 ^日 12:00 9 ^日 18:30 10 ^日 11 ^日 12 ^(日・金) 13:30	会費 *市民劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州市民劇場 093-541-0075
 小		MUSICAL 人生ほど素敵なショーはない ～Life is wonderful～	9 ^金 ・10 ^土	9 ^金 19:00 10 ^土 13:30/18:00	¥3000 *全席自由 *未就学児入場不可	九州アクターズクラブ 090-1873-6808(石丸)
 大		ダンスダイブ2015 パットシェバ舞踊団「DECADANCE - デカダンス」	11 ^日	14:00	一般¥6000、ユース¥3000 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大		夢グループコンサート	12 ^(月・祝)	18:00	SS席¥8000、S席¥7000 *全席指定 *表記は税抜	株式会社 夢グループ 0570-666-114(8:00～18:00)
 小		フルート教室 Class Concert vol.7	12 ^(月・祝)	14:00	無料 *全席自由	080-4277-9179(松本)
 小		シャンソン発表会	16 ^金	14:00	無料 *全席自由	093-617-6705(伊藤)
 大		Hand to Heart ～大内義昭～Memories	18 ^日	15:00	無料 *全席自由 *入場整理券あり・要事前申込	北九州ミュージックプロムナード実行委員会 093-871-8882
 中		文化講演会 林家正蔵独演会	18 ^日	14:00	無料 *全席自由	一般財団法人 北九州市教職員互助会 093-941-5897
 小		みんなで かがやく ピアノコンサート	18 ^日	18:30	¥1000 *全席自由	幼児音楽教育センター 093-931-0026
 小		北九州子ども劇場 10月乳幼児部例会 「ふわふわ山の音楽会」(山の音楽舎)	23 ^金	11:00 *開場は開演の10分前	会費 *4歳以上入場不可 *子ども劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州子ども劇場 093-884-3834
 小		ソプラノ 田中ありさ、アルト 矢野依子 西南女学院高等学校音楽部OG会 ジョイント・コンサート	24 ^土	14:30	無料 *全席自由 *未就学児入場不可	090-7384-7090(持橋)
 大		ハーモニカ・ビッグバンドコンサートin北九州	25 ^日	14:30	¥2000 *全席指定 *当日¥500増	北九州ハーモニカクラブ 093-961-4767(後藤)
 中		北九州少年合唱隊 第29回定期演奏会	25 ^日	15:00	¥1000 *全席自由	北九州少年合唱隊 090-3463-5368(高山)
 小		TAKAKOシャンソンライブ2015	25 ^日	15:00	¥3000 *全席自由 *未就学児入場不可	090-3669-1139(稲生)
 小		勝井祐二/NYANTORA Super Psychedelic Exhibition in Kokura	30 ^金	19:00	¥2500 *全席自由 *当日¥500増	engel 080-3909-7869
 大		第27回童謡まつり&合唱音楽祭	31 ^土	13:30 *開場は開演の1時間前	¥1000 *全席自由 *中学生以下無料	小倉工業倶楽部 093-541-2114(梅木)

11			日程	開演時間	料金	お問合せ
 中		こまつ座 第112回公演 「十一びきのネコ」 ～子どもとその付添いのためのミュージカル～	7 ^土 ・8 ^日	両日14:00	大人¥6500 子ども(3歳～中学生)¥1500 セット(大人＋子ども)¥7000 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *2歳以下入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大		小倉南区文化祭バレエフェスティバル 第1部:くるみわり人形より“お菓子の宮殿” 神崎バレエスタジオ 第2部:“十一月の雲にのって”/眠れる森の美女第一幕より“バ・ド・シス” 岡山江野子モダン&クラシックバレエ研究所	8 ^日	14:00	¥2000 *全席自由	小倉南区バレエ協会 093-962-0603
 中		北九州市民劇場11月例会 文学座「くにこ」	10 ^火 –17 ^火	10 ^火 18:30 11 ^水 ・12 ^木 13:30 13 ^金 18:30 14 ^土 –16 ^日 13:30 17 ^月 12:00	会費 *市民劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州市民劇場 093-541-0075
 大		No.9 –不滅の旋律–	13 ^金 –15 ^日	13 ^金 18:00 14 ^土 13:00/18:00 15 ^日 13:00	S席¥11800、A席¥9800 *全席指定 *未就学児入場不可 *前売終了・当日券取扱あり	キョードー西日本 092-714-0159 (平日10:00～19:00・土曜10:00～17:00)

University

このページは、北九州市立大学の地域創生学群 まちあるきプロジェクトに所属する大学生が、見たモノ、感じたままに情報発信するコラボ企画です。

取材／増住 萌花・渡邊 彰仁
本村 羽望・龜山 勝生
瀬戸口 真美・宮本 唯
佐々木 美帆・安永 愛
植澤 武尊

北九大生が発信する! わが街・北九州

我らキタ探検隊

レポーター Qちゃん
北九大に住む猫探検大好き

キタさん
Qちゃんの師匠
お酒大好き

1 北九州の大学生の支え愛

カンボジア教育支援プロジェクト

「世界のために、自分に出来るワンアクションを」と立ち上がった複数の大学の学生たちが、カンボジアの子どもたちに教科書を贈る活動をしているそうにや。大学祭の出店などで資金を稼ぎ、今年からは本棚と図書館の本も贈るんだって!

カンボジア産黒こしょうを使ったクッキーで応援してます!

2 障がい者との支え愛

わくわく楽しいがモットー!

障がい者施設や作業所で作られたスイーツやパン、小物雑貨などを販売するお店。「わくわく楽しく」をモットーに、商品を生む中で障がい者の才能や技術を高めたりと、自立を応援し、分け隔てのない理解を深めることもねらい。店内にはカフェもあるにゃ!

自家製レモンソーダもおすすめです!

3 ママと地域の支え愛

ママのためのコミュニティサロン!

子育てママ&パパと子どものための憩いの場。フリースペースで一緒に遊んだり、講座の参加中や買い物中の一時預かりも出来る(前日までに要予約)。子育ての悩みも気軽に相談できるのが嬉しいところ。授乳やオムツ交換利用もOKにゃ!

子供服やおもちゃのフリマコーナーもある!

4 途上国との支え愛

フェアトレードって知ってる?!

環境になるべく負荷をかけず、作る人も売る人も買う人もみんなが満足できる貿易の仕組み、それがフェアトレード。途上国との公正な取引を目指すだけでなく、仕事の機会を作ったり、生活向上や自立につなげたり。対等な関係性を大切にすることで生まれた商品を取り扱っているにゃ♥

「私自身も支えられています」店主宮下緑さん

ママトモ魚町
(NPO法人チャイルドケアサポートセンター)

●小倉北区魚町2-2-11 サンリオ小倉ビル2F
●093-967-0708
●開館時間:火～日10:30～16:00
(月・年末年始・GW・お盆休)

小さなしあわせ
(NPO法人列島会/創造館クリエイティブハウス)

●小倉北区大倉3-4-33 ●093-383-2121
●営業時間:10:00～17:00

人気No.1はご当地「小倉バーガー」(320円)!

「ミニ発表会!!」

息を揃えて見えない縄跳びを飛びます

お客様を迎えるのはドキドキです

劇場に宿泊&ナイトツアーも開催

オリエンテーションを通してみんなで自己紹介♪

Photo Gallery

+ Junior

Pick up program

夏休み!子どもの劇場体験 2015

2015/7/27～7/30

小学校4～6年生の子どもたちが「演劇体験」コースと「職場体験」コースの2つに別れて、劇場や演劇のアレコレを体験!!スタッフの仕事に挑戦したり、短いお芝居を創ったり。実際にお客様をお迎えしてのミニ発表会も開催☆夏休みに、劇場でしか体験できない特別な4日間を過ごしました。

3日目

フロントスタッフの仕事ではチケットもぎりに挑戦!

2日目

ゲームをきっかけに少しずつお芝居を創ります

4日目

ミニ発表会!!

1日目

オリエンテーションを通してみんなで自己紹介♪

「たまのご褒美」

タナダ ユキ (映画監督)

「75北九州市出身。主な作品に『百万円と苦虫女』(08)『ふかいいい僕は空を見た』(原作:窪美澄/12)『四十九日のレシビ』(原作:伊吹喜/13)など。また、13年には戸畑祇園をモチーフに北九州を舞台にした書き下ろし小説『復讐』(新潮社)を刊行した。監督最新作『ロマンス』(主演:大島優子)が8月29日より全国公開され、北九州では9月26日よりシネプレックス小倉で公開予定。小説版『ロマンス』も、文藝春秋より絶賛発売中。

完成までにスタッフが必死になつて作った作品は、あとは「宣伝部」に託される。極端な話、宣伝文句一つで、客入りが変わると言っている。宣伝とは非常に恐ろしい、裏を返せば面白い仕事だと思ふ。毎回、私は宣伝部という部署には警戒する。作品を生かすも殺すもこの人たちが次第といつても過言ではないからだ。幸い「ロマンス」の宣伝は、今までの宣伝活動よりはるかに楽しかった。楽しいと感じること自体が初めてだった。「ロマンス」は小さな映画だ。当然、宣伝費もとても少ない。けれど、だからこそ、キャストや宣伝部「丸」となつて、心を込めた。心を込めたつて、届く保証はない。けれど、正解がわからなくても、やったほうが良いのではと思ふことは、ほぼ全てだった。私もパンフレットだのオフィシャルグッズだの、違う会社の宣伝部であればやらせてくれなかったかもしれないことを、色々やらせてもらった。大島優子さんは忙しい最中、沢山の取材や番組を受けてくれ、大倉孝二さんも、ある時は大阪まで自腹で来て取材を受けてくれた。映画作りは楽しいことばかりではないから、もう辞めたいと思ふこともしょっちゅうある。けれどたまにこういうことがあるから、私は未だに映画を辞めないでいるのだと思ふ。

去年の秋に撮影した映画『ロマンス』が公開になった。私は昔、映画監督というものは映画を作りさえしていればそれで済むのだと思っていたから、「宣伝活動」という名のもと、取材で喋り倒したり、ポスターやチラシなど、公開にまつわる色々なもののチェックをした。

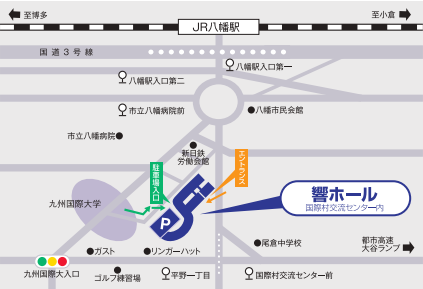
公開初日、宣伝部が作ってくれた手作り感あふれ過ぎな富士山ケーキ!味は美味しかったです

				Hibiki Hall PROGRAM CALENDAR	
	日程	開演時間	料金	お問合せ	
 カワイコンサート 2015 (第2235回) 小川典子 ピアノ・リサイタル	2 ^金	19:00	一般券¥2500、ペア券¥4000 学生(小〜大学生)、会員券¥2200 *全席自由 *未就学児入場不可	株河合楽器製作所 093-531-5581 (菊池)	
 響ホール室内合奏団 第26回定期演奏会	4 ^日	15:00 *開場は開演の1時間前	指定席¥3000、自由席¥2500 学生(小〜大学生)¥1000 *ペア券(前売のみ)¥4000 *当日¥500増 *未就学児入場不可	響ホール室内合奏団 093-647-0565	
 ヤマハ音楽教室 ピアノ・エレクトーン発表会 2015	11 ^日 ・12 ^(月・祝)	両日10:30	無料 *全席自由	株ヤマハミュージックリテイリング小倉店 093-962-3734(小倉南センター 札本)	
 2015 北九州国際音楽祭 マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ	17 ^土	15:00 *開場は開演の1時間前	S席¥5000、A席¥3000 U-25(A席)¥2000 *全席指定 *当日¥500増 *未就学児入場不可 *U-25…学生問わず25歳以下・要証明	北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093-663-6567	
 第69回全日本学生音楽コンクール 北九州大会 本選	23 ^金 ~25 ^日	23 ^金 14:00 24 ^土 10:00 25 ^日 10:30	¥1500 *全席自由 *未就学児入場不可	毎日新聞西部本社事業部 093-511-1119(福田)	

	日程	開演時間	料金	お問合せ	
 2015 北九州国際音楽祭 小曽根 真 [ジャズピアノ] ゲスト:中川英二郎 [トロンボーン]	1 ^日	15:00 *開場は開演の1時間前	(10/17 ^土)と同様)	北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093-663-6567	
 2015北九州国際音楽祭 市民企画事業 第11回 マラソン・コンサート	3 ^(火・祝)	10:30	無料 *全席自由	北九州国際音楽祭 市民企画委員会 080-2732-2532(蒲ヶ原)	
 日本ブルックナー交響楽団 北九州公演	7 ^土	14:00	¥1000 *全席自由 *未就学児入場不可	日本ブルックナー交響楽団 090-8401-0220(蒲ヶ原)	
 新日鐵住金マンドリン合奏団 第73回定期演奏会	8 ^日	14:00	¥500 *全席自由	新日鐵住金マンドリン合奏団 093-246-0133(敷田)	
 第42回 八幡東小学校連合音楽会	11 ^(水)	9:40 *開場は開演の10分前 13:30 *開場は開演の20分前	無料 *全席自由	北九州市小学校文化連盟 093-671-1947(血倉小学校 保科)	
 2015 北九州国際音楽祭 ライナー・キュッヒル[ヴァイオリン] ステファン・シュトロイスニツク[ピアノ]	14 ^土	15:00 *開場は開演の1時間前	指定席¥4000、一般(自由席)¥3500 U-25(自由席)¥2000、ペア(自由席)¥6000 響ホール自由席セット券(11/14+11/21)¥6000 *当日¥500増 *未就学児入場不可 *U-25…学生問わず25歳以下・要証明 *自由席セット券は一般前売のみ	北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093-663-6567	
 下村泰斗 ピアノリサイタル2015「光の竜宮城」	15 ^日	14:00	一般¥2000、学生¥1000 *全席自由	下村泰斗コンサート事務局 093-581-6797	
 2015 北九州国際音楽祭 河村尚子[ピアノ] 佐藤俊介[ヴァイオリン] セバスティアン・マンツ[クラリネット] ウルリッヒ・ヴィッテラー[チェロ]	21 ^土	15:00 *開場は開演の1時間前	(11/14 ^土)と同様)	北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093-663-6567	

	日程	開演時間	料金	お問合せ	
 九州国際大学付属中学校 第16回音楽祭	5 ^土	13:00 *開場は開演の15分前	無料 *一部指定	九州国際大学付属中学校 093-671-9001(安部)	
 響ホール ワンコイン・ランチタイムコンサート 第1回 輪まなな仲間たち「音楽でつづる世界のクリスマス」	9 ^(水)	12:10 *開場は開演の40分前	¥500 *全席自由 *ホワイエにて開催 *立見の場合あり	輪まなな仲間たち 090-8299-4222(道家)	
 産業医科大学管弦楽団 第31回定期演奏会	12 ^土	18:00	¥500 *全席自由 *当日¥300増	産業医科大学管弦楽団 090-5627-4298(葛葉)	
 2015響シリーズ第5弾 ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット 〜クリスマス Bach Night〜	19 ^土	15:00 *開場は開演の1時間前	指定席¥3500、一般自由席¥3000 U-25自由席¥1500 *当日¥500増 *未就学児入場不可 *U-25…学生問わず25歳以下・要証明	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-663-6661	
 響ホール提携事業 クリスマス名曲集・歌い続けたい日本の名曲	25 ^金	19:00	無料 *全席自由 *要整理券 *未就学児入場不可	北九州メモリアル女声合唱団 090-7384-7090(持橋)	

*表示料金は前売価格です。 *特に表記のない場合(当日前売金額共通)(開場は開演の30分前) *掲載情報は響ホールで予定されている催しの一部です。9/11金現在の情報であり、公演名・時間・料金などは変更になる場合がございます。詳細については各主催者までお問合せください。
【J R】鹿兒島本線八幡駅下車、徒歩約15分 JR八幡駅から響ホールまで無料シャトルバス(開場30〜15分前)を運行(一部公演を除く) 【バ ス】八幡駅入口第一下車、徒歩約10分 市立八幡病院前下車、徒歩約5分 国際村交流センター前または平野一丁目下車、徒歩約3分 【乗用車】都市高速道路、大谷ランプから車で10分 国際村交流センター(30分¥80)の駐車場などをご利用ください。



北九州市立 響ホール HIBIKI HALL
〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内 TEL.093-662-4010 FAX.093-662-0100 http://www.hibiki-hall.jp/



老若男女が夢中になる一魚部は、この街の財産だ。

部活動から街に開かれた「市民のブカツ」へ

文：重岡 美千代

北九州・魚部(魚部基地)
小倉北区大手町2-12(株)三宅モータース2F
◎公式Facebook <https://www.facebook.com/kitakyushu.gyobu.1044186>
◎公式ブログ「ReBORN!魚ぶろぐ」<http://blog.goo.ne.jp/gyobu2005>
◎「ぎょぶる」2号は10月初旬頃に発売予定

「魚部基地」の魅力を、魚部基地の代表として再出発した。その本拠地で、副代表の上野由里代さんが迎えてくれた。

好きなもの―ゆえに話とはまらない。訪れたのは小倉北区役所のすぐそばにある「魚部基地」。北九州高校の部活動だった「魚部」が、多くの縁ある方々の後押しを得て2015年1月、誰でも参加できる市民に開かれたブカツ「北九州・魚部」として再出発した。その本拠地で、副代表の上野由里代さんが迎えてくれた。

「小さい頃から生き物は好きだったんですが、魚部に入って水生昆虫に興味を持つようになりました。それまでゲンゴロウって1種類だと思っていたんですが、福岡県内だけでも40種類もいるんです!小さいのは1.8mm。最初は小さすぎてまったく見えなかったんですが、目が慣れると違いも見えてきて。光の反射で模様が金色に見える種もいたりきれいだなと思うようになったんです」と熱く語る上野さんは、北九州高校の魚部のOG。山や川で調査を行うフィールドワークでは、胴長を着て網を手には、泥の中で3時間もあつという間だと笑う。1月に35名で出発式を行った北九州・魚部だったが、全国各地から興味関心のある人たちが

集まり、すでに部員は100名以上。専門家もいれば趣味のシニア夫婦もいて、老若男女多彩な顔ぶれが揃っている。6月にはそんな「魚部」を紹介するマガジン「ぎょぶる」を創刊。市内書店で見かけた方もいるだろう。活動の柱は、知ること・伝えること・守ること。身近な自然やそこに生息する小さなのちがあることをまず自分たちが知り、それを人々に伝える。絶滅の恐れがあるなど場合によってはそれらを守ることに取り組む。伝える手法は、展示会や体験会、出版やインターネットによる情報発信など。中でも展示会は大変ながらも達成感があり、自分たちを人間的にも成長させてくれる大切な活動だと上野さんは言う。

「普段気付かないだけで、私が好きな水生昆虫は、家の近所の田んぼにもいるし、紫川の横の小さな水たまりにもいる。でも虫たちは『ここにいるよ!』って言えないから…。私たちに出来ることは、展示会やお話会を通して人々に直接伝えること。これからは調査活動もさらに重ねて、新しい図鑑づくりにも取り組んでい

きたいと思っています」

私たちが生きている世界は、人間だけが生きているわけじゃない。当たり前のことだが、そのことを自分の目で見て、触れて、体験すると、そこには「知った責任」が生じる。そこで環境保護を訴える道もあるが、ただ事実として伝えることで人々の意識に地道に働きかける道を魚部は選んだ。「知ってもらうことで、何か違うやり方を選べたり、見方が変わることもある。遠回りかもしれないけど、それが自分たちらしいアプローチ」とは魚部代表・井上大輔さんの言葉。

魚部は見続ける。水辺の生き物たちを。わずか5mm以下、米粒よりも小さな昆虫の世界さえも見逃すことなく。そして伝え続ける。ただ純粹に好きだという熱に動かされ。その知的好奇心や観察力、行動力は、これから訪れる「多様性と共存」の時代を支える力にもなるのだが、彼らはそのことに執着も誇張もしない。だからこそ人々はそこに集うのだろう。魚部は、間違いなくこの街の財産だ。





未来へのかがやき〜文藝と創造〜

2015 TOTO 北九州国際音楽祭

10月17日(土)・11月21日(土)



北九州国際音楽祭オリジナル企画

マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ

篠崎史紀【NHK響第1コンサートマスター】 双紙正哉【東京都響第2ヴァイオリン首席】
田中香織【クラリネット/国立音大講師】 長 哲也【東京都響ファゴット首席】他【総勢44名】

○10月17日15:00開演 *14:00開場 ○響ホール
●S席¥5000、A席¥3000、U-25 (A席) ¥2000

北九州国際音楽祭オリジナル企画

サロン・コンサート 〜歌に寄せて〜

小森輝彦【バリトン】【定員100名】

○10月22日14:30開演 *14:00開場 ○西日本工業倶楽部
●一般・U-25 ¥4000 *サロン(10/22・10/23)セット券 ¥7000 (セット券売切) *ケーキ付 *全席自由

北九州国際音楽祭オリジナル企画

サロン・コンサート 〜歌に寄せて〜

手嶋眞佐子【メゾソプラノ】【定員100名】

○10月23日14:30開演 *14:00開場 ○西日本工業倶楽部
●一般・U-25 ¥4000 (完売) *サロン(10/22・10/23)セット券 ¥7000 (セット券売切) *ケーキ付 *全席自由

トゥガン・ソビエフ【音楽監督・指揮】 ベルリン・ドイツ交響楽団 ユリアンナ・アヴデーエワ【ピアノ】

○10月31日18:00開演 *17:30開場 ○アルモニーサンク北九州ソレイユホール
●SS席 ¥10000 (SS席売切)、S席 ¥9000、A席 ¥7000、B席 ¥5000、U-25 (B席) ¥2000

小曽根真【ジャズ・ピアノ】 ゲスト: 中川英二郎【トロンボーン】

○11月1日15:00開演 *14:00開場 ○響ホール
●S席 ¥5000、A席 ¥3000、U-25 (A席) ¥2000

ライナー・キュッヒル【ヴァイオリン】 ステファン・シュトロイスニク【ピアノ】

○11月14日15:00開演 *14:00開場 ○響ホール
●指定席 ¥4000 (指定席売切)、一般自由席 ¥3500、U-25 自由席 ¥2000
*一部指定席(指定席は1階中央ブロック)
ベア自由席 ¥6000、2公演(11/14・11/21)自由席セット券 ¥6000

河村尚子【ピアノ】、佐藤俊介【ヴァイオリン】 セバスティアン・マンツ【クラリネット】 ウルリッヒ・ヴィッテラー【チェロ】

○11月21日15:00開演 *14:00開場 ○響ホール
●指定席 ¥4000、一般自由席 ¥3500、U-25 自由席 ¥2000 *一部指定席(指定席は1階中央ブロック)
ベア自由席 ¥6000、2公演(11/14・11/21)自由席セット券 ¥6000

お問合せ・申込

北九州国際音楽祭実行委員会事務局

TEL.093-663-6567 *受付/月〜金9〜17時(祝日除く)

HP/QRコード



24時間いつでも予約・購入 オンラインチケットサービス
複数公演を一度に購入可【座席選択可】

<http://www.kimfes.com>

チケット好評発売中!

*ポイント対象外。*当日各¥500増。ペア券、2公演自由席セット券、サロンセット券の当日販売はございません。また、前売券でチケットが完売した場合は、当日券の販売はございません。*U-25…今年25歳以下(1989年以降生まれ)で学生以外を含みます。入場時にチケットと一緒に年齢が確認できる証明書を必ずご本人がご提示ください。*就学前のお子様はご入場いただけません。*コンサートの詳細は上記事務局までお尋ねください。

2015響シリーズ第5弾
ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
～クリスマス Bach Night(バッハ・ナイト)～



ブルーオーロラサクソフォン・カルテット
～ソサフヒロミチ(CAPSULEOFFICE)～



平野公崇 田中拓也 西本 淳 大石将紀
写真はすべて ソサフヒロミチ(CAPSULEOFFICE)

響ホール 初登場!

新時代を切り拓く最強サックス四重奏団「ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット」がこのクリスマス、ついに響ホールに初登場!“サックス界の革命児”と呼ばれる平野公崇が、各世代の才能を集結し誕生した“ブルーオーロラ”。音域の異なるサックスが奏でる色彩豊かな響きと独自のアレンジをお聴き逃しなく。

【出演】平野公崇(ソプラノ・サクソフォン)
田中拓也(アルト・サクソフォン)
西本淳(テナー・サクソフォン)
大石将紀(バリトン・サクソフォン)

【料金】指定¥3500、一般自由¥3000
U-25自由¥1500

【会場】響ホール

12/19^①
15:00 ● *14:00開場

発売中
*一部指定席

北九州市少年少女合唱団 第41回定期演奏会

[出演] 北九州市少年少女合唱団団員
指揮：阿多博孝、室北昌子、宮崎希世子
ピアノ：宮崎由紀子、秋野美緒
[料金] ¥1000(当日¥200増)
[会場] 戸畑市民会館大ホール

輝く笑顔・虹色ハーモニー♪

幼保から高校生まで、100名を越える団員たちによる4つの多彩なステージ。「This Day」・「美女と野獣」・「少年少女のための合唱組曲 歌の始まり」・「人間っていいな」他、日頃の練習の成果を精一杯発揮します。元氣溢れる美しい歌声をお楽しみください。

12/13②
15:00

一般 10/22未～
※全席自由 ※未就学児無料

2015響シリーズ第6弾

千住真理子・長谷川陽子・仲道郁代 女神たちの“愛のうた”



女神たちが響ホールに！

音楽の女神（ミューズ）たちが響ホールに降臨！ソリストとして第一線で活躍する3人による、ヴァイオリンとチェロとピアノの豪華な共演。トークを交えた楽しい時間とともに、ソロ、デュオ、トリオの名曲を紡ぎだす女神たちの演奏を是非お楽しみください。

千住真理子
c高田真寿 (violin)

長谷川陽子
c長澤幸

仲道郁代
ckiyotake@Saito

[出演] 千住真理子（ヴァイオリン）
長谷川陽子（チェロ）
仲道郁代（ピアノ）

[料金] 一般¥4000、U-25¥2000

[会場] 響ホール

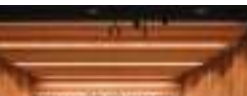
1/31 ㊦

15:00 *14:00開場

先行予約日 10/28㊦

一般 10/29㊦～

平成27年度 合唱組曲「北九州」演奏会



[出演] 北九州をうたう会、市内少年少女合唱団
 市内中学校合唱部
 小倉祇園太鼓保存振興会
 増井信貴(指揮)、九州交響楽団

[料金] 一般¥2000、学生¥1000
 [会場] アルモニーサンク北九州ソレイユホール

ふるさと北九州をうたう

1978年、市制15周年を記念して、日本を代表する作曲家 團伊玖磨と本市に縁の深い栗原一登の作詞により作られた合唱組曲「北九州」。北九州の美しい自然やさまざまな祭り、市民の活気あふれる生活などがふんだんに織り込まれたふるさと讃歌を盛んに歌い上げます。

15:00 ▶ 3/6回

一般 12/10(木)～

※全席自由

ステージプレビューについて

*特に表記のない場合(全席指定)(当日¥500増)(未就学児入場不可)(開場は開演の30分前)(ポイント対象公演)※U-25…今年25歳以下(1989年以降生まれ)で学生以外も含みます。
*予約・購入後のチケット取替・変更・キャンセルはご自身でなさってください。*前売券でチケットが完売した場合は、当日券の販売はございません。*公演日程など変更になる場合がございます。
*託児あり(有料要予約TEL.0120-400-829) *車椅子のご来場をご希望の方は事前にお願いください。

北九州市立響ホール×北九州芸術劇場×北九州市漫画ミュージアム

ミュージックギャラクシー999～音楽の銀河へようこそ～




銀河に旅立とう

北九州市出身の漫画家・松本零士氏の『銀河鉄道999』をモチーフに、オリジナル作品を創作！星や宇宙を感じさせるクラシック音楽を中心にした、新感覚のコンサートを開催します。

【出演】中川賢一（ピアノ）
Quatuor B（サクソフォーン四重奏）
【料金】一般¥2000、U-25¥1000
【会場】響ホール
 ※北九州モノレールでも開催予定

【お問合せ】 財団音楽事業課 TEL.093-562-3611

一般

11/12

※

※全席自由

15:00  2/14①

※14:00開場

北九州市ジュニアオーケストラ

第19回チャリティースプリングコンサート



団員自ら企画！

「音楽を通じて客席の皆さんと楽しい
ときを過ごしたい」そして「世界各地で
苦しむ子どもたちの一助になりたい」
という団員の願いをかたちにした
チャリティコンサート。小学4年生
から高校2年生約100名が出演し、
アンサンブルステージやフルオーケ
ストラステージをお届けします。

【料金】無料（要整理券）
※小さなお子様も座席使用の場合は整理券必要
【チケット取扱】大手町練習場他
【会場】北九州芸術劇場大ホール

【お問合せ】北九州市ジュニアオーケストラ事務局
TEL.093-583-5282

3/27

15:00

14:15開場

一般

3/2

※全席自由 ※託児サービスなし

公演チケット取扱



WEBサイト

http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac

【響ホール】
北九州市八幡東区平野1-1-1
響ホール内 管理事務局

【北九州芸術劇場】
北九州市小倉北区室町1-1-1-11
リバーウォーク北九州5F

検索



携帯サイト

http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac-m





電話

STAGE PREVIEW
各お問合せをご覧ください。



その他

チケットぴあ
TEL.0570-02-9999

ローンチケット
TEL.0570-000-407

チケットクラブQ [会員先行予約方法]

会員限定
特典も
いっぱい!



先行予約
(電話&WEB)



ポイント割引



Q送付
(年4回)

など

▶ ご入会・お問合せ
TEL.093-562-2655 (10:00~19:00)

検索

希望する公演の先行予約日(10:00~17:00)に
電話・WEB・携帯サイトからお申込みください。
WEB・携帯サイトは初回予約・購入の際に利用登録が必要です。

【演劇】の先行予約はP.11をご覧ください。

TEL.093-663-6661

【音楽】専用

WEBサイト
https://yyk1.ka-ruku.com/kicpac

携帯サイト
https://yyk1.ka-ruku.com/kicpac-m

お問合せ ▶ 財団音楽事業課 TEL.093-663-6661 (9:00~18:00/土日祝休)



小曽根 真
[ピアノ]
©大村幸平

中川英二郎
[トロンボーン]
©大村幸平

ユリアナ・
アヴデーエワ
[ピアノ]
©Christine Schneider

トゥガン・
ソヒエフ
[音楽監督・指揮]
©Parice Nin

ベルリン・ドイツ交響楽団
©Kai Bierert

[p.22から続く]

ネット]ウルリッヒ・ヴィットラー[チェロ]とともに繰り広げるのは、オリヴィエ・メシアンが戦時中に強制収容所の中で作曲した『世の終わりのための四重奏曲』。決して演奏される機会が多いわけではない本作を取り上げるといだけでなく、戦後70年を迎える今年、人間が音楽を作り、演奏し続けるのはなぜか、という根源的な問いに答えてくれるような、貴重な機会となるはずです。

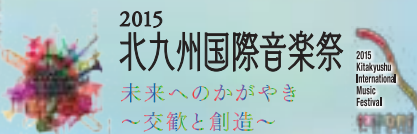
北九州国際音楽祭では、クラシック音楽以外のジャンルもお楽しみ頂けます。今年はジャズ・ピアニストの小曽根真を招き、ゲストのトロンボーン奏者、中川英二郎とともに華麗なジャズ・セッションのひとつをご

堪能頂きます。曲目をご紹介しますのはややまやまですが、これは「当日発表」とのこと。即興こそジャズの核心。サプライズによって生まれる音楽の躍動感を、どうぞお楽しみください。

そして、今年の海外オーケストラは、ベルリン・ドイツ交響楽団。戦後の西ベルリンに創設され、フリッツチャイ、マゼール、シャイーなど、そうそうたる指揮者によって薫陶を受けてきた、数多くのオーケストラがひしめくベルリンにおいても、ひとときその存在感を増している楽団と言えます。近年の評価の向上に大きく寄与しているのが、現在音楽監督を務める北オセチア

生まれのトゥガン・ソヒエフ。モスクワ・ボリショイ劇場の音楽監督も務める俊英が、ベートーヴェンで見せてくれる決然とした棒さばき、そこから生まれる切れ味鋭い音楽は、はやくも次世代の音楽の行く末を示してくれるはず。ソリストには、2010年ショパン国際コンクールで第1位に輝いた、ユリアナ・アヴデーエワ。ドラマティックなベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番で聴かせてくれる、エネルギッシュな演奏と相まって、音楽祭を最高のかたちで盛り上げてくれることでしょう。

※2015北九州国際音楽祭ラインナップは19ページをご覧ください。



report
レポート

2015北九州国際音楽祭 特別プログラム

まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み 《音楽のひみつ》

2015.8.15(土) 14:00~ 北九州市立響ホール

打楽器でプロの演奏家と一緒にコンサートに出演!

演奏が終わった瞬間、子どもたちの緊張が一気にほぐれていくのが客席からも分かった。観客のあたたかい拍手に包まれ、笑顔で一礼し、ステージを後にする12人ー。

昨夏に続いて今年も8月の真只中に開催された「まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み《音楽のひみつ》」で的一幕だ。

第2部「アンサンブルのひみつ」の1曲目では、事前公募により当選した5歳から12歳の子どもたちが打楽器を担当。プロの演奏家と一緒に、L.モーツァルト伝「おもちゃの交響曲」を演奏する企画がおこなわれた。

始まりは2週間前。12人が練習場に集められた。指導にあたるのは、自身も「まるっと…」に出演する打楽器奏者の篠崎史門さん。挨拶やオリエンテーションの後、演奏曲や楽器の説明があり、第1回の練習は始まった。

ピアノやヴァイオリンなど既に楽器を習ってい

る子どもも多かったが、今回の打楽器は太鼓にラチェット、スライドホイッスルや水笛など初めて触れるものばかり。

まずは楽器の扱い方・鳴らし方、楽譜の見方を教わり、担当楽器ごと2人ずつに分かれて練習するものの、「音を出すのが意外とむずかしい…」と、ラッパのむげん君(9歳)とあきえちゃん(10歳)。ナイチンゲールの声を模す水笛のすずちゃん(10歳)・まほちゃん(11歳)も、「一定の音を出すために、吹く強さを考えなきゃ」と戸惑いを隠せない。本番までわずか2週間、子どもたちがどこまで頑張りを見せてくれるか、楽しみながら心配なような初回練習となった。

驚いたのは本番前日、ステージでの合奏練習の時。ほんの1週間前、2回目の練習ではみんなアンサンブルすることに戸惑いを隠せなかった子どもたちが、残り7日間で全員が、自分の楽器の演奏はもちろん、周りの音を感じ

りながら、息をあわせてアンサンブルすることが、ほぼ完璧にできていたのだ。

そして迎えた当日、子どもたちはしっかりと客席を向いて見事に演奏をやり遂げた。「練習の時は毎日2回くらい間違えていたけど、今日は一度も間違えなかったです!」と元気に答えてくれたのは太鼓のゆかちゃん(8歳)。リコーダーでカッコウの声を表現したりよう君(12歳)も「今日の演奏が一番良かったです」と微笑んだ。

この驚くべき成長ぶりに、史門先生も「子どもの感性や秘めた力って、すごいですね」と感心しきり。「今は何をやっても伸びる時期。自分にはどんな可能性もあるということを知ってほしい。そして、今回の経験が「何か一つ最後までやりきる」力に生かされたら嬉しいですね」

無限の可能性とピュアな感性。演奏を終えた瞬間の12人の顔には、その秘めた力がまぶしく輝いていた。

取材・文：堀出 桂子



本番

北九州市出身 アーティストのひみつ



田中 香 織
[クラリネット]

PROFILE
スイスで研鑽を積み、国内外のコンクールで多数入賞。現在国立音楽大学講師。

Q1. (今の) 楽器をはじめたきっかけは?
Q2. プロになろうとおもった理由は?

Q3. 音楽の楽しさ、素晴らしさってどんなところですか?
Q4. 10月のマイスター・アールト×ライジングスターオーケストラについてPRをお願いします。

A1. 中学の吹奏楽部に入った事。
A2. 最初は趣味程度でしたが、努力すればする程吹けるようになり、気がついたら音楽関係以外の将来はあり得ないと思うようになっていました。
A3. 目に見えない言葉では表せない感情を共感出来る事。
A4. 篠崎史紀さん率いる日本のトッププレイヤー達が集結するこのステージ、他のどこでも聴くことの出来ない素晴らしい演奏会になること間違いなしです。私は今年が初めての参加ですが演奏者としてもとても楽しみです。どうぞご期待下さい!!



長 哲 也
[ファゴット]

PROFILE
本市ジュニアオーケストラ卒団生。東京藝大を卒業と同時に東京都警首席奏者に就任。

A1. もともとサックスを吹いていたのですが、ジュニアオーケストラに入団したくファゴットに転向しました。
A2. ファゴットもオーケストラも好きでしたから、自然とプロのオーケストラで吹いてみたいと思うようになりました。
A3. 音楽は、演奏するのはもちろん素晴らしく楽しいことですが、演奏会で聴いたり見たりすることにも楽しさがあるのではないのでしょうか。
A4. ベテランのプレイヤーと若手演奏家による熱い演奏をどうぞお楽しみに!!

未来へのががやき～交歓と創造～

2015 北九州国際音楽祭

北九州国際音楽祭の 聴きどころ

執筆者
広瀬大介
(ひろせだいすけ)

当音楽祭ミュージック・アドバイザー
音楽学・音楽評論家



1988年より、長年にわたって着実に歴史を積み重ねてきた北九州国際音楽祭。北九州市における秋の風物詩として、市民の皆様のみならず、広く西日本の方々にも、素晴らしい音楽の数々を、より一層親しみをもって聴いてもらえるよう、毎年鋭意工夫を重ねています。

現在、音楽祭の「顔」として活躍するマイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ。2013年に、音楽界の第一線で活躍するベテラン奏者の「マイスター・アールト」組と、これからの音楽界を背負って立つ若手奏者の「ライジングスター」組から成る、気鋭のオーケストラが結成されました。NHK交響楽

団の第1コンサートマスターを務める、北九州市出身の篠崎史紀のリーダーシップのもと、指揮者を置かず、大きなアンサンブルとしての可能性を追求する形で、2014年にはベートーヴェンの交響曲が演奏され、大きな話題を集めました。今年は「古典」的な音楽をさらに追究すべく、プロコフィエフ、モーツァルト、メンデルスゾーンの名曲に挑みます。

これまで当音楽祭では、「歌曲」にじっくり触れる機会が少なかったのですが、西日本工業倶楽部という、演奏家の息づかいまでもが聞えるような親密な空間で、古今の名作歌曲をじっくりお楽しみ頂く機会を提供できることを、大変嬉しく思っています。



篠崎史紀
[ヴァイオリン]

マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラ



小森輝彦
[バリトン]

ウルリッヒ・
ヴァッテラー
[チェロ]

佐藤俊介
[ヴァイオリン]

手嶋真佐子
[メゾソプラノ]

ステファン・
シュトロイスニク
[ピアノ]

ライナー・
キュッヒル
[ヴァイオリン]

河村尚子
[ピアノ]

セバスティアン・
マンツ
[クラリネット]

今回は、男性&女性歌手ひとりずつに登場して頂き、お二人にいまいちばん歌いたい曲を選んでもらいました。小森輝彦、手嶋真佐子(北九州市出身)両氏はともに、日本の声楽界を牽引する存在です。ぜひ間近で、迫力ある、そして心に染みこむような歌声をお楽しみください。

年頭のウィーン・フィル・ニューイヤーコンサートなどでもお馴染み、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を長年率いているコンサートマスター、ライナー・キュッヒル氏が、北九州にやってきます。取り上げる曲目も、クライスラーやシューベルト、ブラームスといったウィーンゆかりの作曲家、そしてヴァイオリン奏者に

とっての神とも称すべきバッハの無伴奏からシャコンヌ。ヴァイオリンという楽器の本質を堪能できる一夜になることでしょう。

飛ぶ鳥を落とす勢いで、若手ピアニストの筆頭格として活躍を続ける河村尚子。河村はソロだけでなく、室内楽や歌曲でも、内外の一流アーティストと共演を重ね、活躍の幅を拓けています。そんな河村が、もっとも気の合う仲間たちとともに繰り広げるのは、近代フランス音楽の数々。前半ではそれぞれの楽器の組み合わせを堪能頂けますが、やはり聴きどころはその後半ということになるでしょう。河村がいずれ劣らぬ名奏者たち、佐藤俊介[ヴァイオリン] セバスティアン・マンツ[クラリ

[p.21へ続く]

フランス音楽の精髓

ピアニスト河村尚子の
メシアンの魅力

オルガン奏者として、そして作曲家として、将来を嘱望されていたフランスの作曲家、オリヴィエ・メシアン(1908-1992)は、1939年、第二次世界大戦のために兵役へと駆り出され、翌年にはドイツ軍の捕虜となってしまいます。ゲルリッツの捕虜収容所で過ごした9か月の間に、ここで知り合ったヴァイオリン奏者、チェロ奏者、クラリネット奏者と演奏できるよう、みずからピアノを担当し、「世の終わりのための四重奏曲」と題した、全部で8つの楽章から成る作品を作りました。他にほとんど類を見ないこの4つの楽器の組み合わせは、まさに必然性をもって選ばれたものだったのです。1941年1月15日、まだ寒い冬の日、多くの捕虜を前にして初演されたこの曲に対し、作曲家自身は後に「あれほどまでに自分の作品が、強い集中力と理解力をもって聴かれたことはなかった」と回想しています。

河村尚子さんは、メシアンの音楽は決して難しいものではない、と言います。「たとえば、メシアンは特定の音とハーモニー、リズムの組み合わせを、異なる箇所でも繰り返し使い、曲に統一感をもたらしています。実はこの手法は、モーツァルトも用いており、その作曲手法は昔からずっと繋がっているのです。」また、河村さんにとって、フランス音楽はとても理知的なものに感じられるとのこと。「ドビュッシーやラヴェル、プーランクのフランス音楽は、自分の作品をどのように演奏してほしいか、楽譜にすべて書きこんでいます。これはメシアンも同じです。ちょうど、印象派の絵を見て、それをそのまま受け止めればよいように!」そんなフランス音楽の精髓を、各奏者の卓越した技量で聴かせてくれる、またとない演奏会、どうぞお聞き逃しなく。



Olivier
Messiaen
オリヴィエ・メシアン

文：広瀬大介